

戦争やめて



第7回新宿平和のための戦争展

9/ 5 (金) 9/ 6 (土) 9/ 7 (日)

14:00 開場

16:00~17:00

講演 弁護士 平山 知子

治安維持法制定100年

「私の父は
治安維持法で弾圧された」
～父の残した様々な実体験記録から
その実態に迫る～



17:30~19:00

映画

「鶴彬 こころの軌跡」

19:30 閉場

入場無料

講演・映画等は

先着30席

※展示は自由にご覧いただけます

10:30 開場

11:00~12:30

アニメ映画

「はだしのゲン」



13:30~15:00

証言

「私と被爆
一瞬にして奪われた日常」

木村 一茂 (広島・1歳9カ月)

15:30~16:00

「原水爆禁止世界大会報告会」

19:30 閉場

10:30 開場

11:00~12:00

人形劇団プーク

大型絵本のよみきかせ



「オカピぼうやの
ちいさなぼうけん」



13:30~15:00

絵本作家 武田 美穂

絵本「やくそく」よみきかせ
&
ピーストック

15:30~17:00

フォトジャーナリスト 豊田 直巳

講演「戦争と平和と
子どもたち」



17:30 閉場

2025

9/5(金)~9/7(日)

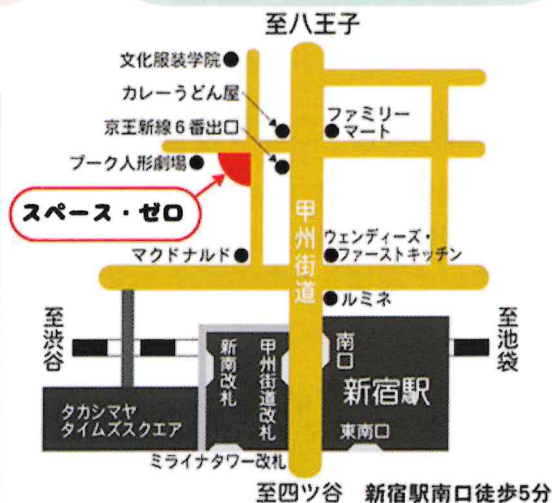
会場：こくみん共済 coop ホール／スペース・ゼロ
ギャラリー・展示室

東京都渋谷区代々木2-12-10-B1

TEL 03-5371-2689 (開催期間中のみ)

■ 最寄駅：JR新宿駅南口 徒歩5分

京王新線／都営大江戸線／都営新宿線／新宿駅6番出口 徒歩1分



至四ツ谷 新宿駅南口徒歩5分

豊田 直巳さん

フォトジャーナリスト、ドキュメンタリー映画監督

日本ビジュアルジャーナリスト協会会員

産経児童出版文化賞 大賞（2019年）

平和・協同ジャーナリスト基金賞 奨励賞（2003年）

著作：『パレスチナの子供たち』『イラク 爆撃と占領の日々』など



武田 美穂さん

1987年に『あしたえんそく』で
絵本作家としてデビュー。

同書はクレヨンハウス絵本大賞の優秀作品に
選ばれる。1991年に発表した『となりのせ
きのますだくん』は絵本にっぽん大賞、講談
社出版文化賞絵本賞を受賞。

ばあちゃんは、ぼくが中学生になったころから、
ぼくを「にいちゃん」とよぶようになった。
ばあちゃんの兄さんも、とうさんも、かあさんも、
原爆症で死んだ。ぼくらは、ぜったい戦争をしない。
子どもを殺したりしない。かなしい思い出をつくらな
い。やくそくする——。

原爆で肉親を失った祖母の過去と歴史に思いを寄せ、
平和を強く誓う少年の姿を、率直な語り口で描いた絵
本。戦後80年を迎える今、あらためて平和の意義を子
どもたちに問いかけます。



人形劇団プークのオリジナル絵本を、
アフリカの楽器の伴奏で読み聞かせします

「ある日、オカピぼうやが目を覚ますと、
お母さんがいません。ぼうやはお母さんを
探しに、初めて森の茂みを抜け出しました。
オカピぼうやの成長ものがたりです。」

人形劇団プークは1929年に誕生し、治安維持法に
よる劇団の強制解散、活動停止という試練を乗り越え、
すべての人々の平和と幸せのために誰もが楽しめる
人形劇を創り続けています。

映画上映

アニメ「はだしのゲン」

制作・原作・脚本
中沢啓治



原爆焦土と化したヒロシマで、たくましく
生きぬく少年・ゲン！

太平洋戦争末期の昭和20年8月6日、
広島市に一発の原子爆弾が投下された。

目の前で父親と姉弟を失い打ちひしがれたゲン
だったが、焦土と化した広島で母と共に強く生き
ていく決意をする。その時、ゲンの母、君江の体
には新たな命が宿っていた。

映画「鶴彬 こころの軌跡」

日本が戦争への道を歩んでいった
昭和初期、反戦川柳を詠み治安維持
法違反で逮捕され獄死した鶴彬の
一生を描きます。



主な展示

【ウクライナの子どもの描いた絵】

【新宿区平和都市宣言
新宿区平和マップ等の資料】

【被爆体験者と広島の高校生との
共同制作による原爆の絵】

【ヒロシマを知ろう!! 8月6日、きこの雲の下で】

広島原爆資料館より

豊田直巳写真展
【戦争と平和と子どもたち】